

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 「中山道ぎふ17宿」観光推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光資源活用課 観光コンテンツ係 電話番号:058-272-1111

(内 3058)

E-mail: c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000千円(前年度予算額:5,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500
要求額	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500
決定額	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では「中山道ぎふ17宿」を全国に通用するふるさと自慢として「岐阜の宝もの」に認定し、「地歌舞伎」と併せて、「中山道・地歌舞伎観光推進事業」として一体で観光資源化に向けた磨き上げに取り組んできたところである。

沿線の観光事業者などが提供する宿泊商品や通年型の体験プログラムの自走化に向けては、これまでの取り組みにより一定の成果が得られたところであり、今後は、これまでに造成した体験プログラム等を活かして、民間主導で中山道の魅力発信、周遊観光につながる取り組みができるよう支援していく必要がある。

そのため、県内最大の民間観光団体で、観光地域づくり法人である(一社)岐阜県観光連盟がその舵取り役となり、「中山道ぎふ17宿」を活用した体験プログラムの実施や各種プロモーション、旅行商品造成支援等、滞在型の周遊観光につながる取り組みに対し支援を行い、観光振興、誘客促進を図る。

(2) 事業内容

- ①「中山道ぎふ17宿」を活用した体験プログラムの実施
- ②「中山道ぎふ17宿」の情報発信・PR
- ③「中山道ぎふ17宿」を活用した旅行商品造成支援

(3) 県負担・補助率の考え方

国の地方創生推進交付金を活用（補助率 1 / 2）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

科目	金額	事業内容
補助金	5,000	体験プログラムの実施、情報発信、旅行商品造成支援
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

（人を呼び込み、地域の消費を拡大するために）

岐阜県観光振興プラン

(2) 事業主体及びその妥当性

「中山道ぎふ17宿」は県が認定した「岐阜の宝もの」であり、これまでの取り組みにより一定の成果が得られたと考えられるため、県が国の交付金事業を活用し、今後は県内最大の民間観光団体で、観光地域づくり法人である（一社）岐阜県観光連盟が中山道沿道の地域の舵取り役となり、事業主体として実施することが妥当。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	「中山道ぎふ17宿」観光推進事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県観光連盟 （理由）中山道を民間主導で自走化させるためには、県内最大の民間観光団体で、観光地域づくり法人である（一社）岐阜県観光連盟が中山道沿道の地域の舵取り役となり、事業主体として実施することが妥当。
補助事業の概要	（目的）岐阜の宝ものである「中山道ぎふ17宿」に、周辺の観光資源を組み合わせることによる周遊性の向上、地域色ある着地型商品の充実や受入環境の整備に取り組むことで、観光入込客、宿泊客を増やし、観光消費額の増大を図る。 （内容） ①「中山道ぎふ17宿」を活用した体験プログラムの実施 ②「中山道ぎふ17宿」の情報発信・PR ③「中山道ぎふ17宿」を活用した旅行商品造成支援
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率10／10 （理由）
補助効果	中山道体験プログラムの自走化支援、情報発信・PRにより、沿道への観光入込客数の増加
終期の設定	終期 令和5年度 （理由）補助事業の目的・効果を達成するため、事業期間を令和3年度から3年と設定

(事業目標)

「岐阜の宝もの」である「中山道ぎふ17宿」沿道各地域にある地域資源を観光資源と連携させ、観光資源化に向けた取組を一層推進することにより、本県における周遊滞在型観光の振興を図るとともに、滞在時間・宿泊日数の拡大、観光消費額の増大を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①観光消費額						%
②観光入込客数（実数）						%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	0千円	0千円	0千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	「岐阜の宝もの」である中山道ぎふ17宿と周辺の観光資源を観光誘客拡大、観光地としてのブランド化を推進するために必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	「岐阜の宝もの」である中山道ぎふ17宿の観光地のブランド化を推進するため、県内最大の民間観光団体で、観光地域づくり法人である(一社)岐阜県観光連盟が舵取り役となり、滞在型の周遊観光につながる取り組みに対し、支援を行い、観光振興、誘客促進を図ることは有効である。

(今後の課題)

限りある予算の中でいかに効率的な事業を展開していくかが課題。

(次年度の方向性)

「中山道17宿」を活用した体験プログラムの実施やプロモーション等を実施することで、自走化に向けた支援を継続する。